

文学座5月アトリエの会

石田圭祐 加納朋之 沢田冬樹 椎原克知 亀田佳明

萩原亮介

越塚学

飯川瑠夏

前東美菜子

2019

5/9 → 5/27

thu.

tue.

IZURE TORANO  
TOTON TOTON

文学座アトリエ

信濃町

作 → 成井昭人 演出 → 所 奏

Written by INUI AKITO Directed by TOKORO KANADE



にんげん

おんぼろ

トト

トト

BUNGAKUZA





石田圭祐



加納朋之



沢田冬樹



椎原克知

人間の自由と尊厳を描いた映画『カッコーの巣の上で』に着想を得て、織り上げられる、可笑しくも騒々しい人間模様を、成井昭人が書き下ろします。

# いすれ おとらぬ トトト トトト

作 → 成井昭人

Directed by TOKORO KANADE

Written by INUI AKITO

所奏 ← 演出

2017年『青べか物語』で好評を博した成井昭人×所奏の第二弾！



亀田佳明



萩原亮介



越塚 学



飯川瑠夏



前東美菜子

一般常識のまかり通る、

こんな世の中はつまらねえだろう

山奥にある病院。そこには、何かしらと交信している患者、音楽家デビューしたい患者、スリッパ拳法を操る患者、家に帰りたい患者、毛布にくるまる患者、道行きの患者などがいる。患者たちは、医者・看護師とのミーティング治療によって、主張することを管理・禁止されながら過ごしていた。そんな中、ある男が病院にやってくる。

美術→石井強司 照明→阪口美和 音響→丸田裕也 衣裳→宮本宣子 振付→木皮 成 舞台監督→寺田 修  
制作→梶原 優、佐藤竜太郎、鈴木美幸 イラストとチラシデザイン→藤尾勘太郎



**成井昭人** → 1971年、東京生まれ。劇作家、小説家。祖父は文学座の劇団代表を務めた演出家・成井市郎。文学座附属演劇研究所を退所後、表現活動集団《鉄割アルパトロケット》を旗揚げし、現在も活動を続けている。2008年に「鮎のためいき」で小説家デビュー。翌年発表した「まずいスープ」で第141回芥川賞にノミネート。2013年「すっぱん心中」で第40回川端康成文学賞受賞。2016年、野間文芸新人賞受賞作「のろい男 俳優・亀岡拓次」は横浜聡子監督により映画化された。2017年、NHKみんなのうたで放送された「うんだらか うだすぽん」の作詞をハナレグミの永積崇と共同で担当するなど、活動の幅を広げている。

2019 5/9 thu 木 → 21 tue 火

信濃町 文学座アトリエ

前売開始 2019年4月1日(月)

●入場料<全席指定税込>

前売・電話予約：4,300円 当日：4,600円

※当日券は開演の3時間前より、03-3353-3566(文学座当日券申込専用)でご予約を承ります。

ユースチケット：2,500円

※25歳以下の方対象・取り扱いは文学座のみ。ご観劇当日、年齢を確認できる身分証明書等をご持参下さい。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※車イスでご来場のお客様は、必ずご観劇前日までにご購入席番を文学座までご連絡下さい。

●チケット取り扱い

・文学座チケット専用

0120-481034

(10:00~17:30/日曜除く)

・チケットぴあ

0570-02-9999(Pコード 492-080)

・e+ (イープラス)

http://eplus.jp/bungakuza/(PC・携帯共通)

・文学座ホームページ

http://www.bungakuza.com/(Getiiより)

QRコードよりお申込み可能



●お問合せ

文学座 03 (3351) 7265 (10:00~18:00/日・祝除く)

〒160-0016 東京都新宿区信濃町10 http://www.bungakuza.com/ info@bungakuza.com



※開場は開演の30分前

★=終演後アフタートーク開催

11日(土)19:00の回 成井昭人(作)、横浜聡子(映画監督)、所奏(演出)、椎原克知

13日(月)14:00の回 木皮 成(振付)、沢田冬樹、萩原亮介、鈴木亜希子

15日(水)19:00の回 加納朋之、亀田佳明、前東美菜子、飯川瑠夏

